

越後駒ヶ岳佐梨川金山沢奥壁

堀江 誠克

■山行年月日:2021年6月12～13日

■メンバー:堀江 誠克、他1名

■コースタイム:

6月11日

前夜発、駒の湯の駐車場に車を停めてテントを張ろうとしていたら、駒の湯の主人に「幕営禁止」を告げられ、ふもとに戻って大湯公園の駐車場にテント泊。

6月12日

7:00 第3スラブ取り付き～第4スラブ～
10:00 中央バンド～13:00 郡界尾根～オ
ツルミズ沢～15:30 駒の小屋

まだ暗いうちに起きだして駒の湯の手前300mほどの待避所に車を止め、歩き出す。林道から旧鉱山道に入り、アプローチする。金山台地でハーネスをつけ準備。さらに鉱山道を詰めて雪渓に降りる。台地から懸垂することもできるようだが、歩いたほうが早い。

第3スラブの取り付きまで下ってゆく。シュルントが心配だったが、うまくスラブに取り付けそう。今回のパートナーは予定では永遠のパートナー憲ちゃん、だったが何回誘ってもOKしてくれないので、地元のクライミング仲間のタカハシフミタカ君。ルートで5.14、ボルダーで四段を登ったのちは、沢登りに傾倒。久しぶり（というか、マルチピッチは2回目）のクライミングとか。ちなみに、昨年は梅花皮大滝～上部ゴルジュをペアで、今年の10月にはなんと1泊2日で剣沢大滝のすべての滝をソロで完



金山沢奥壁1ピッチ目

登し、大西ルートの第2登を達成している。ということで、この絶悪な壁を目の前にしても気が楽なのである。1p目、スラブを直上、バンドを右にトラバースして第四スラブとの境の尾根上まで60m。2p目、そのまま第4スラブ入り、60m目いっぱい伸ばす。その後はコンテをまじえながら、ほぼノーピン状態でスピーディに登っていく。

登るにつれて、垂直のブッシュ登りが何度か出てきて悪い。が、悪いピッチはことごとくフミタカ君があっさりリードしてくれるので速い。しかも沢シューズで。あっという間に中央バンドに達し、ちょっと休憩。

その後もガンガン飛ばし、郡界尾根へ

終了 13 時。登攀時間 6 時間はこの壁の最速記録に近いだろう。郡界尾根を少し進んで、オツルミズ沢に降り、詰めあげて快適な駒の小屋へ。

6 月 13 日

4:50 駒の小屋～5:10 駒ヶ岳～駒の湯

朝起きるといい天気。あまり山頂には興味がないが、せっかく来たので朝食後、頂上を往復する。小屋から一般ルートの小倉尾根を下る。ただの歩きなので気が楽だ。尾根を降りきると壊れた吊り橋。ワイヤーを綱渡りし、無事車に戻る。

過去の記録を見ていると、みな遅い。大きな壁に取り付く前に、もっとクライミング能力を高めるべきだろう。



オツルミズ沢



金山沢奥壁